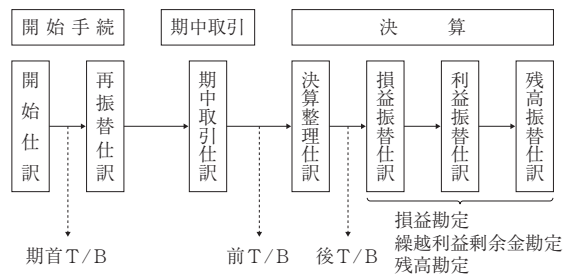


1

簿記の概要



ワンポイントアドバイス

金額推定の問題の場合、関連する勘定を把握しておく必要がある。代表的なものは以下のとおりである。なお、決済金額の内訳が不明な場合には、掛代金は、手形による決済がされたものとして計算を行う。

- ・仕入グループ…商品BOX（繰越商品、仕入）、買掛金、支払手形、前払金
- ・売上グループ…売上、売掛金、受取手形、前受金、貸倒引当金



ワンポイントアドバイス

英米式決算法の場合には、損益勘定を設け損益振替仕訳及び利益振替仕訳を行うと同時に収益勘定、費用勘定、損益勘定を締め切る。

しかし、準大陸式決算法のように残高振替仕訳は行わないため、残高勘定は存在しない。よって、総勘定元帳における資産勘定、負債勘定及び純資産勘定については、差額を「次期繰越」として金額が少ない側に記入し、貸借を一致させ、締め切る。

2 決算振替

決算振替とは、損益振替、利益振替、残高振替をいい、元帳の勘定記録に基づいて財務諸表を作成するにあたり、帳簿を締め切るための手続きをいう。

(1) 損益振替

(損	益)	× × ×	(費	用)	× × ×
(収	益)	× × ×	(損	益)	× × ×

(2) 利益振替

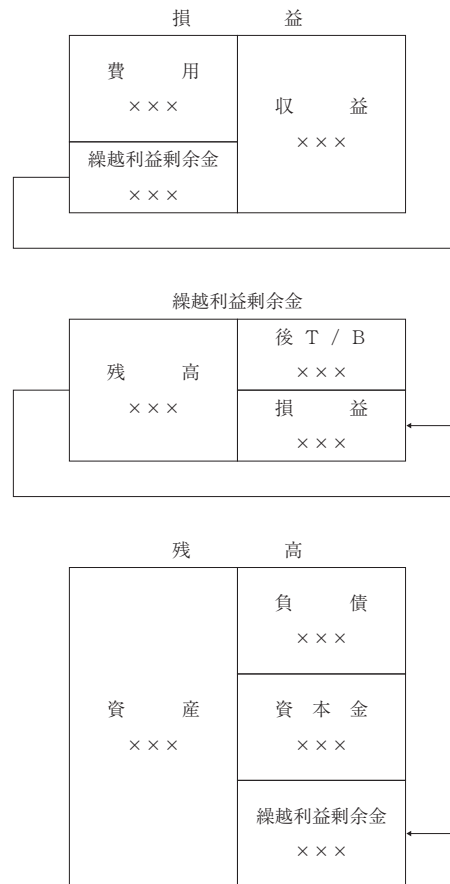
(損	益)	× × × ※	(繰越利益剰余金)	× × ×
----	----	---------	-----------	-------

※ 損益勘定で算出された当期の利益である。

(3) 残高振替（準大陸式決算法）

(残	高)	× × ×	(資	産)	× × ×
(負	債)	× × ×	(残	高)	× × ×
(資	本	金)	× × ×		
(繰越利益剰余金)	× × ×				

【参 考】



3 開始仕訳（準大陸式決算法）

前期において残高勘定へ振り替えられた資産・負債及び純資産の各勘定の残高を相互に相手勘定として仕訳を行う。

(資 産)	× × ×	(負 債)	× × ×
		(資 本 金)	× × ×
		(繰越利益剰余金)	× × ×

【参 考】

資 産		負 債	
前期繰越	× × ×	前期繰越	× × ×
		資 本 金	
		前期繰越	× × ×
		繰越利益剰余金	
		前期繰越	× × ×

4 再振替仕訳

前期の決算整理仕訳において、損益の見越・繰延の処理を行った場合は、当期首に前期の決算整理仕訳と貸借逆の仕訳を行う。

(1) 未払費用

(未 払 費 用)	× × ×	(費 用)	× × ×
-----------	-------	-------	-------

(2) 前払費用

(費 用)	× × ×	(前 払 費 用)	× × ×
-------	-------	-----------	-------

(3) 未収収益

(収 益)	× × ×	(未 収 収 益)	× × ×
-------	-------	-----------	-------

(4) 前受収益

(前 受 収 益)	× × ×	(収 益)	× × ×
-----------	-------	-------	-------

2

現金預金

1 現金

① 現金の範囲

会計処理	種 類	具 体 例
現金として処理	通 貨	紙幣、硬貨
	通貨代用証券	他人振出の小切手
		期限到来済の利札
		配当金額収書
		送金為替手形
		振替払出証書

(1) 通貨又は通貨代用証券 受取時

(現金)※ ××× (○ ○ ○) ×××

※ 先日付小切手の場合は受取手形として処理する。

(2) 他人振出小切手 引渡時

(○ ○ ○) ××× (現金) ×××

② 現金過不足

(1) 一連の流れ

① 現金の帳簿残高を実際有高に合わせるように仕訳を行う。

② 不一致発生時
(現金の相手科目)

期中：現金過不足→判明：該当科目へ振替え
→決算：判明分を該当科目に振替え、残額を雑収入又は雑損失
決算：判明分を該当科目に振替え、残額を雑収入又は雑損失

(2) 期中に現金過不足が生じた場合

① 不一致発生時

(現金過不足) ××× (現金) ×××

又は

(現金) ××× (現金過不足) ×××

② 原因判明分 (期中及び決算時)

(該当科目) ××× (現金過不足) ×××

(現金過不足) ××× (該当科目) ×××

③ 原因不明分 (決算時)

(雑損失) ××× (現金過不足) ×××

又は

(現金過不足) ××× (雑収入) ×××

(3) 決算日に現金過不足が生じた場合

① 原因判明分

(該当科目) ××× (現金) ×××

(現金) ××× (該当科目) ×××

② 原因不明分

(雑損失) ××× (現金) ×××

又は

(現金) ××× (雑収入) ×××



ワンポイントアドバイス

翌期に繰越される現金勘定 (後T/B金額) は、実際有高の金額となる。

2 当座預金・借越

① 小切手の処理

(1) 小切手 振出時

(○ ○ ○) × × × (当 座 預 金) × × ×

(2) 自己振出小切手 受取時

(当 座 預 金) × × × (○ ○ ○) × × ×

② 当座借越

(1) 一勘定制

① 引出時

(○ ○ ○) × × × (当 座) × × × ※

※ 預金残高が不足している場合には、当座勘定は貸方（マイナス）残高となる。

② 預入時

(当 座) × × × (○ ○ ○) × × ×

(2) 二勘定制

① 引出時

(○ ○ ○) × × × (当 座 預 金) × × ×

(当 座 借 越) × × × ※

※ 預金残高が不足している場合には、不足分については当座借越勘定で処理する。

② 預入時

(当 座 借 越) × × × ※ (○ ○ ○) × × ×

(当 座 預 金) × × ×

※ 当座借越がある場合には、当座借越勘定の減額から先に行う。

③ 当座預金の期末修正（銀行勘定調整）

(1) 当社側の修正

① 未渡小切手

未渡小切手とは、すでに小切手を振出し、その振出しの記帳を行っているにもかかわらず、まだ相手方に渡されていない状態のものをいう。

(当 座 預 金) × × × (※) × × ×

※ 仕入先に対するもの…買掛金

費用・固定資産の支払いに対するもの…未払金

② 未処理・誤処理

未処理・誤処理があった場合には、適正な金額に修正を行う。

(2) 銀行側の金額修正（当社の修正は不要）

① 未取付小切手

未取付小切手とは、すでに小切手を振出し相手側に手渡したが、相手側がまだ銀行に呈示していない状態の小切手のことをいう。

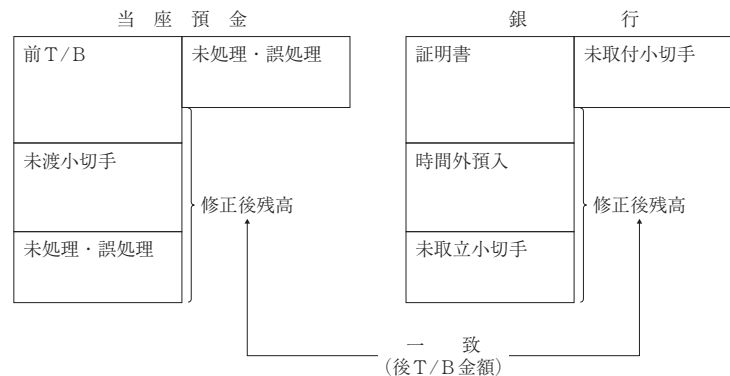
② 時間外預入

時間外預入とは、営業時間外の預入れ（夜間金庫への預入れ）であるため、銀行では翌日に入金処理が行われる。

③ 未取立小切手

未取立小切手とは、銀行に取立依頼を行った小切手について、銀行側で未だ取立てがされていない状態の小切手をいう。

【参 考】



④ 振込手数料（掛代金の決済を前提）

(1) 債権者が負担する場合

① 債権者の処理

（当 座 預 金） × × × （売 掛 金） × × ×

（支 払 手 数 料） × × ×

② 債務者の処理

（買 掛 金） × × × （当 座 預 金） × × ×

(2) 債務者が負担する場合

① 債権者の処理

（当 座 預 金） × × × （売 掛 金） × × ×

② 債務者の処理

（買 掛 金） × × × （当 座 預 金） × × ×

（支 払 手 数 料） × × ×

4 小口現金

(1) 前渡時

（小 口 現 金） × × × （当 座 預 金） × × ×

(2) 小口経費支払時

仕訳なし

(3) 報告時

（〇 〇 費） × × × （小 口 現 金） × × ×

(4) 補給時※

（小 口 現 金） × × × （当 座 預 金） × × ×

※ 補給制度については、期末（月末）補給制度と期首（月初）補給制度がある。

3 当座勘定照合表

当座勘定照合表と当座勘定の突き合わせを行い、不一致が生じた場合には不一致原因の種類によって必要な修正を行う。



突き合わせの結果	不一致原因の種類	必要な修正
両方とも同一金額が記載	——	修正なし
照合表には記載があるが、当座勘定には記載がない	未通知 (未処理)	当社側で修正仕訳
照合表には記載がないが、当座勘定には記載がある	未取付小切手	証明書残高に減算修正
	時間外預入 未取立小切手	証明書残高に加算修正
	未渡小切手	当社側で修正仕訳
金額に差異がある	誤処理	当社側で修正仕訳